

ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート（案）

今般の残留基準の検討については、農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において厚生労働大臣からの依頼に伴う食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

ダゾメット、メタム、メチルイソチオシアネートがそれぞれ農薬として使用されている。ダゾメット及びメタムは、水の存在下でメチルイソチオシアネートに容易に分解され、植物体内では概ねメチルイソチオシアネートとして存在すると考えられている。

このため、ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの食品中における残留基準について、まとめて検討することとする。

(1) 品目名：ダゾメット [Dazomet (ISO)]

メタム [Metam (ISO)]

メタムアンモニウム塩 [Metam-ammonium (ISO)]

メタムナトリウム塩 [Metam-sodium (ISO)]

メタムカリウム塩 [Metam-potassium (ISO)]

メチルイソチオシアネート [Methyl isothiocyanate (ISO)]

(2) 分類：農薬

(3) 用途：土壌くん蒸剤

メチルイソチオシアネートは土壌くん蒸剤であり、土壌中で気化・拡散して殺菌、殺虫及び殺雑草種子効果を示すと考えられている。

ダゾメットはチアジジン骨格をもつ土壌くん蒸剤であり、メタム（メタムアンモニウム塩、メタムナトリウム塩及びメタムカリウム塩）はジチオカルバメート系の土壌くん蒸剤である。両剤とも土壌中で速やかに分解し、主にメチルイソチオシアネートとなり、このガスが土壌中に拡散して殺菌、殺虫及び殺雑草種子効果を示すと考えられている。

(4) 化学名及びCAS番号

ダゾメット

Tetrahydro-3,5-dimethyl-1,3,5-thiadiazine-2-thione (IUPAC)

2*H*-1,3,5-Thiadiazine-2-thione, tetrahydro-3,5-dimethyl- (CAS : No. 533-74-4)

メタムアンモニウム塩

Ammonium methyl dithiocarbamate (IUPAC)

Carbamodithioic acid, *N*-methyl-, ammonium salt (1:1) (CAS : No. 39680-90-5)

メタムナトリウム塩

Sodium methyl dithiocarbamate (IUPAC)

Carbamodithioic acid, methyl-, monosodium salt (9 CI) (CAS : No. 137-42-8)

メタムカリウム塩

Potassium methylthiocarbamate (IUPAC)

Carbamodithioic acid, methyl-, monopotassium salt (9 CI) (CAS : No. 137-41-7)

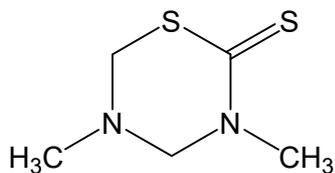
メチルイソチオシアネート

Methyl isothiocyanate (IUPAC)

Methane, isothiocyanato- (CAS : No. 556-61-6)

(5) 構造式及び物性

ダゾメット



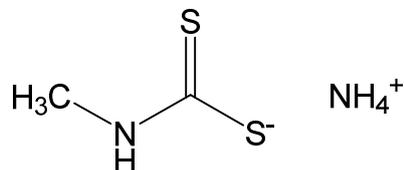
分子式 $C_5H_{10}N_2S_2$

分子量 162.28

水溶解度 3.5 g/L (20°C)

分配係数 $\log_{10}P_{ow}=0.6$

メタムアンモニウム塩



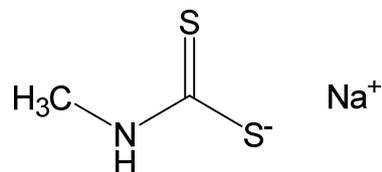
分子式 $C_2H_8N_2S_2$

分子量 124.23

水溶解度 1,368 g/L (20°C)

分配係数 $\log_{10}P_{ow}=-2.25\sim-2.27$ (20°C)

メタムナトリウム塩



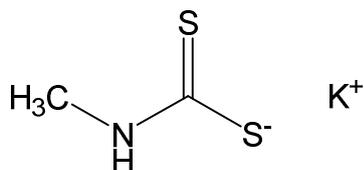
分子式 $C_2H_4NS_2Na$

分子量 129.18

水溶解度 >1000 g/L (25°C)

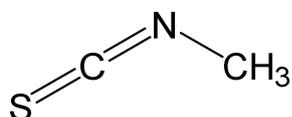
分配係数 $\log_{10}P_{ow}=0.04$ (25°C)

メタムカリウム塩



分子式 $C_2H_4NS_2K$
 分子量 145.29
 水溶解度 88.2 g/L (20°C)
 分配係数 $\log_{10}P_{ow} = -2.9$ (25°C)

メチルイソチオシアネート



分子式 C_2H_3NS
 分子量 73.12
 水溶解度 8.2 g/L (20°C)
 分配係数 $\log_{10}P_{ow} = 1.1$ (25°C)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

(1) 国内での使用方法

今般の基準値設定依頼に当たって、農薬取締法に基づく適用拡大申請がなされている項目を四角囲いしている。

【ダズメット】

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	ダズメットを含む農薬の総使用回数
らっかせい	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種又は定植 21日前まで	1回	1回

GR:粉粒剤

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	ダズメットを含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	植付21日前まで	1回	1回
さといも	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	植付21日前まで	1回	1回
かんしょ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a 30 kg/10 a	植付21日前まで	1回	1回
やまのいも	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	植付21日前まで	1回	1回
こんにゃく	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a 20～60 kg/10 a	植付21日前まで	1回	1回
てんさい	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	200～400 g/m ³	秋期(翌春は種)	1回	1回
だいこん	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	10～20 kg/10 a 20～30 kg/10 a	は種21日前まで	1回	1回
はつかだいこん	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20 kg/10 a	は種35日前まで	1回	1回
かぶ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
はくさい	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
キャベツ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	ダゾメットを含む農薬の総使用回数
こまつな	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種10日前まで	1回	1回
みずな	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種12日前まで	1回	1回
チンゲンサイ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
ブロッコリー	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a 20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
カリフラワー	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a 20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
なばな類	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
非結球あぶらな科葉菜類(非結球メキャベツ、こまつな、非結球はくさい、なばな類、チンゲンサイ、みずなを除く)	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a 20～30 kg/10 a	は種14日前まで	1回	1回
非結球メキャベツ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	定植21日前まで	1回	1回
非結球はくさい	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植14日前まで	1回	1回
ごぼう	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種28日前まで	1回	1回
しゅんぎく	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20 kg/10 a	は種21日前まで	1回	1回

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	ダゾメットを含む農薬の総使用回数
レタス	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a 30 kg/10 a	は種又は定植14日前まで	1回	1回
非結球レタス	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a 30 kg/10 a	は種又は定植14日前まで	1回	1回
食用ぎく	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a 30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
葉ごぼう	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種28日前まで	1回	1回
もりあざみ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種21日前まで	1回	1回
ふき	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
たまねぎ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30～60 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
			30 kg/10 a			
			20～40 kg/10 a			
			20～30 kg/10 a			
		本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	秋期(翌春は種)	1回	
		本剤の所定量を均一に散布して浅く混和する。	20 kg/10 a 10～20 kg/10 a	は種14日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	ダズメットを含む農薬の総使用回数
ねぎ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30～60 kg/10 a	は種又は定植14日前まで	1回	1回
			30 kg/10 a			
			20～30 kg/10 a			
にんにく	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	植付28日前まで	1回	1回
にら	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
			30～60 kg/10 a			
わけぎ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
葉たまねぎ (苗床)	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して浅く混和する。	10～20 kg/10 a	は種14日前まで	1回	1回
らっきょう	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	植付21日前まで	1回	1回
にんじん	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
パセリ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
セルリー	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	ダズメットを含む農薬の総使用回数
みつば	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20 kg/10 a	は種21日前まで	1回	1回
あしたば	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種10日前まで	1回	1回
トマト	96.5% GR	土壌に本剤の所定量を加え十分混和する。	200~300 g/m ³	は種又は定植21日前まで	1回	1回
		本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20~30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	
			30 kg/10 a			
ミニトマト	96.5% GR	土壌に本剤の所定量を加え十分混和する。	200~300 g/m ³	は種又は定植21日前まで	1回	1回
		本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20~30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	
			30 kg/10 a			
			30~60 kg/10 a			
ピーマン	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
なす	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
			20~30 kg/10 a			
とうがらし類	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	定植21日前まで	1回	1回

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	ダズメットを含む農薬の総使用回数
きゅうり	96.5% GR	土壌に本剤の所定量を加え十分混和する。	200～400 g/m ³	は種又は定植21日前まで	1回	1回
		本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	
かぼちゃ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
すいか	96.5% GR	土壌に本剤の所定量を加え十分混和する。	200～400 g/m ³	は種又は定植21日前まで	1回	1回
		本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	
メロン	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a 30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
		土壌に本剤の所定量を加え十分混和する。	200～400 g/m ³	は種又は定植21日前まで	1回	
にがうり	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
ほうれんそう	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20～30 kg/10 a 10 kg/10 a	は種10日前まで	1回	1回
しょうが	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30～60 kg/10 a	定植21日前まで	1回	1回
			20～30 kg/10 a			
葉しょうが	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	定植21日前まで	1回	1回
			20～30 kg/10 a			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	ダズメットを含む農薬の総使用回数
豆類(未成熟、ただし、えだまめ、実えんどう、さやえんどう、さやいんげん、未成熟そらまめを除く)	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種21日前まで	1回	1回
さやえんどう	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20~30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
実えんどう	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20~30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
さやいんげん	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20~30 kg/10 a	は種21日前まで	1回	1回
えだまめ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20~30 kg/10 a 30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	1回
未成熟そらまめ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種21日前又は定植45日前まで	1回	1回
さといも(葉柄)	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20~30 kg/10 a	植付21日前まで	1回	1回
やまのいも(むかご)	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20~30 kg/10 a	植付21日前まで	1回	1回
つるむらさき	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20~30 kg/10 a	定植21日前まで	1回	1回
モロヘイヤ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	定植30日前まで	1回	1回

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	ダズメットを含む農薬の総使用回数
りんご	96.5% GR	被害株跡地に本剤の所定量を均一に散布して土壌と十分混和する。	50~100 g/m ²	夏期~秋期	1回	1回
なし	96.5% GR	被害株跡地に本剤の所定量を均一に散布して土壌と十分混和する。	100 g/m ²	夏期~秋期	1回	1回
いちご	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20~30 kg/10 a 30 kg/10 a	仮植又は定植21日前まで	1回	1回
ぶどう	96.5% GR	被害株跡地に本剤の所定量を均一に散布して土壌と十分混和する。	50~100 g/ m ²	夏期~秋期	1回	1回
みょうが(花穂)	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	定植42日前まで	1回	1回
みょうが(茎葉)	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	定植42日前まで	1回	1回
しそ	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	30 kg/10 a	は種又は定植14日前まで	1回	1回
チャービル	96.5% GR	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	20 kg/10 a	は種42日前まで	1回	1回

【メタムアンモニウム】

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムアンモニウムを含む農薬の総使用回数
こんにゃく	50.0% SL	(散布全面処理)原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付をする。	原液として30 L/10 a	植付30日前まで	1回	1回
だいこん	50.0% SL	(散布全面処理<無被覆>)無被覆の場合、原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和をして、7～10日後にガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後には種をする。	原液として30 L/10 a	は種14日前まで	1回	1回
		(散布全面処理)原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後には種をする。	原液として30 L/10 a	は種14日前まで	1回	
はくさい	50.0% SL	(散布全面処理)原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付をする。	原液として30 L/10 a	植付14日前まで	1回	1回
キャベツ	50.0% SL	(散布全面処理<無被覆>)無被覆の場合、原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和をして、7～10日後にガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付をする。	原液として30 L/10 a	植付14日前まで	1回	1回
		(散布全面処理)原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付をする。	原液として30 L/10 a	植付14日前まで	1回	

SL：液剤

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムアンモニウムを含む農薬の総使用回数
たまねぎ(秋播露地栽培苗床)	50.0% SL	(散布全面処理)原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で1～2週間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後には種をする。	原液として30 L/10 a	は種30日前まで	1回	1回
		(散布表面処理)原液を水で30倍に希釈して、ジョウロ等で土壌表面に均一に散布して、ビニール等で1～2週間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後には種する。	原液として30 L/10 a	は種30日前まで	1回	
ねぎ(春播露地栽培苗床)	50.0% SL	(散布全面処理)原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で1～2週間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後には種をする。	原液として30 L/10 a	は種14日前まで	1回	1回
		(散布表面処理)原液を水で30倍に希釈して、ジョウロ等で土壌表面に均一に散布して、ビニール等で1～2週間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後には種する。	原液として30 L/10 a	は種14日前まで	1回	
わけぎ(春播露地栽培苗床)	50.0% SL	(散布全面処理)原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で1～2週間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後には種をする。	原液として30 L/10 a	は種14日前まで	1回	1回
		(散布表面処理)原液を水で30倍に希釈して、ジョウロ等で土壌表面に均一に散布して、ビニール等で1～2週間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後には種する。	原液として30 L/10 a	は種14日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムアンモニウムを含む農薬の総使用回数
トマト	50.0% SL	(散布全面処理)原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付をする。	原液として30 L/10 a	植付14日前まで	1回	1回
		(灌水チューブ法)予め灌水チューブを設置し、ビニール等で被覆する。原液30 Lを水と共に10 a当たり水量が3000 L(100倍希釈)になるように灌水注入して、7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付又は種をする。	原液として30 L/10 a	植付14日前まで	1回	
きゅうり	50.0% SL	(散布全面処理)原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付をする。	原液として30 L/10 a	植付14日前まで	1回	1回
		(灌水チューブ法)予め灌水チューブを設置し、ビニール等で被覆する。原液30 Lを水と共に10 a当たり水量が3000 L(100倍希釈)になるように灌水注入して、7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付又は種をする。	原液として30 L/10 a	植付14日前まで	1回	
すいか	50.0% SL	(散布全面処理)原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付をする。	原液として30 L/10 a	植付14日前まで	1回	1回
		(灌水チューブ法)予め灌水チューブを設置し、ビニール等で被覆する。原液30 Lを水と共に10 a当たり水量が3000 L(100倍希釈)になるように灌水注入して、7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付又は種をする。	原液として30 L/10 a	植付14日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムアンモニウムを含む農薬の総使用回数
ほうれんそう	50.0% SL	(灌水チューブ法) 予め灌水チューブを設置し、ビニール等で被覆する。原液30 Lを水と共に10 a当たり水量が3000 L(100倍希釈)になるように灌水注入して、7~10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7~10日後に植付又はは種をする。	原液として30 L/10 a	は種14日前まで	1回	1回
いちご	50.0% SL	(灌水チューブ法) 予め灌水チューブを設置し、ビニール等で被覆する。原液30 Lを水と共に10 a当たり水量が3000 L(100倍希釈)になるように灌水注入して、7~10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7~10日後に植付又はは種をする。	原液として30 L/10 a	植付14日前まで	1回	1回
あさつき(春播露地栽培苗床)	50.0% SL	(散布全面処理) 原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で1~2週間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7~10日後には種をする。	原液として30 L/10 a	は種14日前まで	1回	1回
		(散布表面処理) 原液を水で30倍に希釈して、ジョウロ等で土壌表面に均一に散布して、ビニール等で1~2週間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7~10日後には種する。	原液として30 L/10 a	は種14日前まで	1回	

【メタムナトリウム】

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
さといも	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
かんしょ	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回			

AL：液剤（直接適用）

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
かんしょ	33.0% AL	ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回	1回
		前作の作物残渣を含む土壌表面に所定量の薬液を散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から植付の15日前まで	1回	
やまのいも	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
こんにゃく	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
			原液として40 L/10 a			
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
原液として40～60 L/10 a						

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
だいこん	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			
かぶ	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
はくさい	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回			
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			
キャベツ	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
			原液として40～60 L/10 a			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
キャベツ	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
みずな	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
チンゲンサイ	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
ブロッコリー	33.0% AL	所定量の薬液を土壤中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
ごぼう	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
レタス	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回			
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
非結球レタス	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
たまねぎ	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を積み上げた土壌表面に散布し直ちに被覆する。	原液として80 mL/m ²	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
ねぎ	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回			
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
にんにく	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
にら	33.0% AL	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後からは種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後からは種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後からは種又は定植の10日前まで	1回	
わけぎ	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
わけぎ	33.0% AL	所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	1回
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
にら（花茎）	33.0% AL	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後からは種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後からは種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後からは種又は定植の10日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
にんじん	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
トマト	33.0% AL	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回			
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
ミニトマト	33.0% AL	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回			
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
ピーマン	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として40～60 L/10 a			
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回			
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
なす	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
			原液として40 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
原液として60 L/10 a						
所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回			
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
とうがらし類	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として40～60 L/10 a			
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回			
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
きゅうり	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
			原液として40～60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回			
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
かぼちゃ	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
すいか	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回			
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
メロン	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として80 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
ズッキーニ	33.0% AL	所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	1回
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
ほうれんそう	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
ほうれんそう	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後からは種の7日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し混和する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後からは種の7日前まで		
しょうが	33.0% AL	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
さやえんどう	33.0% AL	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
さやえんどう	33.0% AL	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	1回
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
		ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回	
実えんどう	33.0% AL	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
実えんどう	33.0% AL	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a 原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
		ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回	
いちご	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
いちご	33.0% AL	所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40 ～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	1回
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40 ～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回			
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			
あさつき	33.0% AL	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	原液として40 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
			原液として60 L/10 a			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
あさつき	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	1回
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	
		所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として40～60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
			原液として60 L/10 a			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し鎮圧又は被覆する。	原液として60 L/10 a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで。ただし、は種又は定植の15日前まで	1回	
ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	原液として40 mL/m ²	集積後からは種又は定植の15日前まで	1回			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メタムナトリウムを含む農薬の総使用回数
みょうが (花穂)	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	
みょうが (茎葉)	33.0% AL	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	1回
		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	原液として60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	

【メチルイソチオシアネート】

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
やまのいも	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のトりに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)	は種又は植付けの21日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a 30～40 L/10 a	は種又は植付けの21日前まで	1回	
こんにゃく	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のトりに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土・鎮圧する。 ・薬剤処理7～10日後(ただし、たばこは30日後)にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)	は種又は植付けの21日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a 30～40 L/10 a	は種又は植付けの21日前まで	1回	

OL：油剤

配合剤：40.0%1,3-ジクロロプロペン

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
だいこん	20.0% OL	<p>・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のドリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土・鎮圧する。</p> <p>・薬剤処理7～10日後(ただし、たばこは30日後)にガス抜き作業を行う。</p>	30～40 L/10 a(1 穴当り3 ～4 mL)	は種又は 植付けの 21日前 まで	1回	1回
			20～40 L/10 a(1 穴当り 2～4 mL)			
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は 植付の21 日前まで は	1回	
			30 L/10 a			
			30～40 L/10 a			
		圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は 植付の14 日前まで (砂質土)	1回	
			30 L/10 a			
			30～40 L/10 a			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
かぶ	20.0% 0L 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種の 21日前 まで	1回	1回
			30 L/10 a			
			30～40 L/10 a			
はくさい	20.0% 0L 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又 は植付 の21日 前まで	1回	1回
			30～40 L/10 a			
			30 L/10 a			
キャベツ	20.0% 0L 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又 は植付 の21日 前まで	1回	1回
			40 L/10 a			
			30～40 L/10 a			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
ごぼう	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種の 21日前 まで	1回	1回
			30～40 L/10 a			
レタス	20.0% OL 配合剤	<ul style="list-style-type: none"> 圃場を耕起・整地した後、30 cm間隔のホヰりに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。 	30～40 L/10 a(1 穴当たり 3～4 mL)	は種又 は植付 けの21 日前 まで	1回	1回
			20～30 L/10 a	は種又 は植付 けの21 日前 まで	1回	
			30 L/10 a			
非結球 レタス	20.0% OL 配合剤	<ul style="list-style-type: none"> 圃場を耕起・整地した後、30 cm間隔のホヰりに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。 	30～40 L/10 a(1 穴当たり 3～4 mL)	は種又 は植付 けの21 日前 まで	1回	1回
			20～30 L/10 a	は種又 は植付 けの21 日前 まで	1回	
			30 L/10 a			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
ふき	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のホヱリに深さ約12～15 cm の穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しホヱリ、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a(1 穴当たり 3～4 mL)	植付けの30日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a 30 L/10 a	植付の30日前まで	1回	
たまねぎ	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のホヱリに深さ約12～15 cm の穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しホヱリ、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a(1 穴当たり 3～4 mL)	は種又は植付けの21日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付けの14日前まで	1回	
			30 L/10 a 30～40 L/10 a			
ねぎ	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のホヱリに深さ約12～15 cm の穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しホヱリ、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a(1 穴当たり 3～4 mL)	植付けの30日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a 40 L/10 a	は種又は植付けの14日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
ねぎ	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a	は種又は植付の14日前まで	1回	1回
にんにく	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a 30 L/10 a	は種又は植付の30日前まで	1回	1回
わけぎ	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のトリに深さ約12～15 cm の穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)	植付けの30日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付の14日前まで	1回	
			40 L/10 a 30～40 L/10 a			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
らっきょう	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm間隔のホリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土・鎮圧する。 ・薬剤処理7～10日後(ただし、たばこは30日後)にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a(1穴当たり3～4 mL)	は種又は植付けの21日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付けの21日前まで	1回	
にんじん	20.0% OL		・圃場を耕起・整地した後、30 cm間隔のホリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土・鎮圧する。 ・薬剤処理7～10日後(ただし、たばこは30日後)にガス抜き作業を行う。			30～40 L/10 a(1穴当たり3～4 mL)
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付けの21日前まで	1回	
			30～40 L/10 a			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
トマト	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm間隔のフタりに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)	は種又は植付けの21日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付けの21日前まで	1回	
			30 L/10 a			
			40 L/10 a			
30～40 L/10 a						
ミニトマト	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm間隔のフタりに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)	は種又は植付けの21日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付けの21日前まで	1回	
			30 L/10 a			
			40 L/10 a			
30～40 L/10 a						

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
なす	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のトドリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)	は種又は植付けの21日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a 30 L/10 a	は種又は植付けの21日前まで	1回	
きゅうり	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のトドリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)	は種又は植付けの21日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a 30～40 L/10 a	は種又は植付けの21日前まで	1回	
すいか	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のトドリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)	は種又は植付けの21日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a 30～40 L/10 a	は種又は植付けの21日前まで	1回	

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
メロン	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm間隔のトドリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)	植付けの30日前まで	1回	1回
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a 30～40 L/10 a	は種又は植付けの30日前まで	1回	
ほうれんそう	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm間隔のトドリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	40 L/10 a (1穴当たり4 mL)	は種の30日前まで	1回	1回
			30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)			
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種の30日前まで	1回	
			30 L/10 a 30～40 L/10 a 40 L/10 a			

(国内での使用方法のつづき)

作物名	剤型	使用方法	使用量	使用時期	使用回数	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
しょうが	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	1回	1回
			30～40 L/10 a			
いちご	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のトブリに深さ約12～15 cm の穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリマルチ、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)	は種又は植付けの21日前まで	1回	1回
			20～30 L/10 a			
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	1回	
あさつき	20.0% OL	・圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のトブリに深さ約12～15 cm の穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土しポリマルチ、ビニール等で被覆する。 ・薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)	植付けの30日前まで	1回	1回
			20～30 L/10 a			
	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	40 L/10 a	は種又は植付の14日前まで	1回	
茶	20.0% OL 配合剤	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	1回	1回
			30～40 L/10 a			
			50 L/10 a			

3. 代謝試験

(1) 植物代謝試験

【ダズメット】

植物代謝試験が、トマト、はつかだいこん及びはくさいで実施されており、可食部で10%TRR^{注)}以上認められた代謝物はなかった。

なお、親化合物であるダズメットは認められておらず、痕跡程度のメチルイソチオシアネートが認められたが、これは土壤中分解生成物として取り込まれたものによると考えられた。

注) %TRR：総放射性残留物 (TRR：Total Radioactive Residues) 濃度に対する比率 (%)

【メタムアンモニウム塩】

植物代謝試験が、キャベツ及びだいこんで実施されており、可食部で10%TRR以上認められた代謝物はなかった。

なお、本剤はほとんどが揮発すると考えられ、葉部及び根部とも放射能の残留が少なく、残留物の同定はされていない。

【メタムナトリウム塩】

植物代謝試験が、だいこん、トマト及びはくさいで実施されており、メタムナトリウム塩及びメチルイソチオシアネートは認められていない。可食部で10%TRR以上認められた代謝物はなかった。

なお、本剤の可食部への移行率は低く、親化合物の残留は認められず代謝物の同定はされていない。

【メチルイソチオシアネート】

植物代謝試験が、トマト及びだいこんで実施されているが、無機化及びCO₂の生成が進行し親化合物であるメチルイソチオシアネートは認められず可食部で10%TRR以上認められた代謝物はなかった。

また、*In vitro*代謝試験として、トマト及びレタスの葉から作成したリーフディスクを用いて実施されており、可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物 M01 (トマト及びレタス)、代謝物M02 (トマト及びレタス) 及びアスパラギン酸 (レタス) であった。

【代謝物略称一覧】

略称	JMPR評価書の略称	化学名
MITC	—	メチルイソチオシアネート
M01	—	不明 (MITC-S-グルタチオン抱合体)
M02	—	2-アミノ-3-メチルチオカルバモイルスルファニルプロピオン酸
アスパラギン酸	—	(2S)-2-アミノプロピオン酸

—：JMPRで評価されていない。

4. 作物残留試験

(1) 分析の概要

① 分析対象物質

- ・ダゾメット
- ・メタムアンモニウム塩
- ・メタムナトリウム塩
- ・メチルイソチオシアネート

② 分析法の概要

i)ダゾメット、メタムアンモニウム塩、メタムナトリウム塩及びメチルイソチオシアネート

試料に水及び酢酸エチル又は n -ヘキサンを加え、蒸留装置を用いて加熱還流し、メチルイソチオシアネート並びにダゾメット、メタムアンモニウム塩及びメタムナトリウム塩から生成したメチルイソチオシアネートを蒸留する。留出液から n -ヘキサン又は酢酸エチルを分取し、高感度窒素・リン検出器付きガスクロマトグラフ (GC-NPD) で定量する。

または、試料に水及び酢酸エチル又はリン酸緩衝液 (pH 8.0)、塩化ナトリウム及び酢酸エチルを加え、蒸留装置を用いて加熱還流し、MITC並びにダゾメット、メタムアンモニウム塩及びメタムナトリウム塩から生成したメチルイソチオシアネートを蒸留する。水層及び酢酸エチル層を分取して塩析し、必要に応じてベンゼンスルホンプロピルシリル化シリカゲル (SCX) カラムを用いて精製した後、GC-NPD又はガスクロマトグラフ・質量分析計 (GC-MS) で定量する。

定量限界：メチルイソチオシアネート 0.002~0.02 mg/kg

ii)メチルイソチオシアネート

試料に水及び n -ヘキサン又は酢酸エチルを加えて加熱還流し、留出液から n -ヘキサン又は酢酸エチルを分取し、炎光光度型検出器 (硫黄用干渉フィルター) 付きガスクロマトグラフ (GC-FPD(S)) 又はGC-NPDで定量する。

定量限界：0.003~0.05 mg/kg

(2) 作物残留試験結果

国内作物残留試験については、らっかせいの試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙1-1、1-2、1-3及び1-4に示す。

5. ADI及びARfDの評価

食品安全基本法 (平成15年法律第48号) 第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

(1) ADI

① ダゾメット

無毒性量：0.4 mg/kg 体重/day

(動物種) 雌イヌ

(投与方法) 混餌

(試験の種類) 慢性毒性試験
(期間) 1年間
安全係数：100
ADI：0.004 mg/kg 体重/day

(参考)

評価に供された遺伝毒性試験の*in vitro*試験の一部で陽性の結果が得られたが、小核試験を始め*in vivo*試験では陰性の結果が得られたので、ダズメットは生体にとって問題となる遺伝毒性はないと結論されている。

② メタムアンモニウム塩

無毒性量：0.5 mg/kg 体重/day
(ADI設定根拠資料①) 慢性毒性試験
(動物種) イヌ
(投与方法) カプセル経口
(期間) 1年間

(ADI設定根拠資料②) 繁殖毒性試験
(動物種) 雄ラット
(投与方法) 強制経口
(期間) 2世代
安全係数：100
ADI：0.005 mg/kg 体重/day

(参考)

評価に供された遺伝毒性試験の*in vitro*試験の一部で陽性の結果が得られたが、小核試験を始め*in vivo*試験では陰性の結果が得られたので、メタムアンモニウム塩は生体にとって問題となる遺伝毒性はないと結論されている。

③ メタムナトリウム塩及びメタムカリウム塩

無毒性量：0.75 mg/kg 体重/day
(動物種) 雄イヌ
(投与方法) 強制経口
(試験の種類) 慢性毒性試験
(期間) 1年間
安全係数：100
ADI：0.0075 mg/kg 体重/day

食品安全委員会は、メタムカリウム塩はメタムナトリウム塩と毒性が同等と考えられたことから、ADIの設定に当たってはメタムナトリウム塩の各種試験結果を基に評価を行った。

(参考)

評価に供された遺伝毒性試験の*in vitro*試験の一部で陽性の結果が得られたが、小核試験を始め*in vivo*試験では陰性の結果が得られたので、メタムナトリウム塩及びメタムカリウム塩は生体にとって問題となる遺伝毒性はないと結論されている。

④ メチルイソチオシアネート

無毒性量：0.4 mg/kg 体重/day

(ADI設定根拠資料①) 亜急性毒性試験

(動物種) イヌ

(投与方法) 強制経口

(期間) 90日間

(ADI設定根拠資料②) 慢性毒性試験

(動物種) イヌ

(投与方法) 強制経口

(期間) 1年間

安全係数：100

ADI：0.004 mg/kg 体重/day

(参考)

評価に供された遺伝毒性試験の*in vitro*試験の一部で陽性の結果が得られたが、小核試験を始め*in vivo*試験では陰性の結果が得られたので、メチルイソチオシアネートは生体にとって問題となる遺伝毒性はないと結論されている。

(2) ARfD

① ダゾメット

無毒性量：2.8 mg/kg体重

(動物種) 雄イヌ

(投与方法) 混餌

(試験の種類) 亜急性毒性試験

安全係数：100

ARfD：0.028 mg/kg体重

② メタムアンモニウム塩

無毒性量：3 mg/kg 体重/day

(動物種) イヌ

(投与方法) 強制経口

(試験の種類) 慢性毒性試験

安全係数：100

ARfD：0.03 mg/kg 体重

③ メタムナトリウム塩及びメタムカリウム塩

無毒性量：2.16 mg/kg 体重/day

(ARfD設定根拠資料①) 発生毒性試験
(動物種) ラット
(投与方法) 強制経口

(ARfD設定根拠資料②) 発生毒性試験
(動物種) ウサギ
(投与方法) 強制経口

安全係数：100

ARfD：0.021 mg/kg 体重

食品安全委員会は、メタムカリウム塩はメタムナトリウム塩と毒性が同等と考えられたことから、ARfDの設定に当たってはメタムナトリウム塩の各種試験結果を基に評価を行った。

- ④ メチルイソチオシアネート
無毒性量：10 mg/kg 体重
(動物種) 雄マウス及び雄ウサギ
(投与方法) 強制経口
(試験の種類) 一般薬理試験
安全係数：100
ARfD：0.1 mg/kg 体重

(3) グループADI及びグループARfDの設定

食品安全委員会は、総合的な評価において、ダゾメット及びメタムは農薬として散布された後、土壤中でメチルイソチオシアネートに分解され活性成分となること、植物体内では概ねメチルイソチオシアネートとして残留すると考えられることから、メチルイソチオシアネートを総合的な評価対象物質としており、ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートのグループADI及びグループARfDは、メチルイソチオシアネートのADI及びARfDを用いて、それぞれ0.004 mg/kg 体重/day及び0.1 mg/kg 体重と設定した。

6. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、EUにおいて果菜類、葉菜類等に基準値が設定されている。

7. 残留規制

(1) 残留の規制対象

メチルイソチオシアネートのみとする。

ダゾメット及びメタムは、水の存在下でメチルイソチオシアネートに容易に分解され、植物体内では概ねメチルイソチオシアネートとして存在すると考えられていること、及び作物残留試験においてメチルイソチオシアネートが検出されていることから分析の指標としてメチルイソチオシアネートのみで十分であると考えられるため、残留の規制

対象をメチルイソチオシアネートとする。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

8. 暴露評価

(1) 暴露評価対象

メチルイソチオシアネートのみとする。

ダズメット及びメタムは農薬として散布された後、土壌中でメチルイソチオシアネートに分解され、植物体内において概ねメチルイソチオシアネートとして残留すると考えられ、通常の植物代謝試験においては代謝物が認められなかったことから、暴露評価対象をメチルイソチオシアネートとする。

なお、メチルイソチオシアネートの*in-vitro*代謝試験で認められた代謝物は、グルタチオン抱合体、システイン抱合体及びアスパラギン酸であり、暴露評価対象には含めないこととする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、ダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネートにおける農産物中の暴露評価対象物質をメチルイソチオシアネートとしている。

(2) 暴露評価

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	EDI/ADI (%) ^{注)}
国民全体 (1歳以上)	2.7
幼小児 (1~6歳)	5.3
妊婦	2.5
高齢者 (65歳以上)	3.0

注) 各食品の平均摂取量は、平成17~19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算値：作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等×各食品の平均摂取量

② 短期 (1日経口) 暴露評価

各食品の短期推定摂取量 (ESTI) を算出したところ、国民全体 (1歳以上) 及び幼小児 (1~6歳) における摂取量は急性参照用量 (ARfD) を超えていない^{注)}。詳細な暴露評価は別紙4-1及び4-2参照。

注) 基準値案、作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は中央値 (STMR) を用い、平成17~19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを算出した。

ダズメットの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) ^{注2) 注3) 注4)}	設定の根拠等
		剤型 ^{注1)}	使用量・使用方法	回数	使用時期		
らっかせい (子実)	2	96.5% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	138, 145, 152	圃場A:<0.01 (1回, 138日)
					定植21日前	130, 137, 144	圃場B:<0.01 (1回, 130日)
ばれいしょ (塊茎)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付25日前	137	圃場A:0.017
					植付18日前	102	圃場B:0.036 (#)
					植付36日前	137	圃場C:0.010
					植付16日前	108	圃場D:0.007 (#)
	4	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付23日前	129	圃場E:0.023
					植付20日前	134	圃場F:0.047
					植付36日前	137	圃場C:0.009
					植付16日前	108	圃場D:0.003 (#)
さといも (塊茎)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付18日前	224	圃場A:<0.002 (#)
					植付20日前	221	圃場B:<0.002
かんしょ (塊茎)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付20日前	140	圃場A:<0.002
					植付21日前	128	圃場B:<0.002
やまのいも (塊茎)	5	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付22日前	184	圃場A:0.010
					植付19日前	162	圃場B:0.022 (#)
					植付28日前	243	圃場C:<0.005
					植付20日前	227	圃場D:<0.005
					植付24日前	187	圃場E:0.014
	5	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付22日前	184	圃場A:0.008
					植付19日前	162	圃場B:0.023 (#)
					植付28日前	243	圃場C:<0.005
					植付20日前	227	圃場D:0.005
					植付24日前	187	圃場E:0.018
こんにやくいも (球茎)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付27日前	183	圃場A:<0.005
					植付20日前	171	圃場B:<0.005
てんさい (根部)	2	98.0% GR	400 g/m ² (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	1+1	は種210日前+植付226日前	369	圃場A:<0.005 (#)
					は種203日前+植付250日前	401	圃場B:<0.005 (#)
だいこん (根部)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	68	圃場A:<0.005
					は種21日前	90	圃場B:<0.005
					は種20日前	68	圃場A:<0.005
だいこん (葉部)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種21日前	90	圃場B:<0.005
					は種20日前	78	圃場A:<0.002
					は種17日前	73	圃場B:0.004 (#)
だいこん (葉部)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	68	圃場A:<0.005
					は種21日前	90	圃場B:<0.005
					は種20日前	68	圃場A:0.005
だいこん (葉部)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	78	圃場A:<0.002
					は種17日前	73	圃場B:0.004 (#)
					は種20日前	27	圃場A:0.021
だいこん (つまみ菜)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種17日前	35	圃場B:0.599 (#)
					は種20日前	34	圃場A:0.005
だいこん (間引き菜)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種17日前	42	圃場B:0.277 (#)
					は種20日前	63, 68, 73	圃場A:<0.005 (1回, 63日)
はつかだいこん (根部)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種35日前	84, 89, 94	圃場B:0.005 (1回, 84日)
					は種35日前	63, 68, 73	圃場A:<0.005 (1回, 63日)
はつかだいこん (葉部)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種35日前	84, 89, 94	圃場B:<0.005 (1回, 84日)
					は種20日前	52	圃場A:<0.005
かぶ (葉部)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種22日前	92	圃場B:<0.005
					は種20日前	52	圃場A:<0.005
かぶ (葉部)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種22日前	92	圃場B:<0.005
					は種20日前	52	圃場A:<0.005
かぶ (根部)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	52	圃場A:<0.005
					は種22日前	92	圃場B:<0.005
かぶ (根部)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	52	圃場A:<0.005
					は種22日前	92	圃場B:<0.005
はくさい (茎葉)	4	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種30日前	100	圃場A:<0.006
					は種31日前	164	圃場B:<0.006
					定植20日前	83	圃場C:<0.005
					定植20日前	74	圃場D:<0.005
キャベツ (葉球)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	92	圃場A:<0.005
					定植22日前	115	圃場B:<0.005
こまつな (茎葉)	3	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種10, 20日前	33, 43	圃場A:0.003 (1回, は種20日前, 43日)
					は種10日前	31, 41	圃場B:0.003 (1回, 31日)
					は種10日前	40, 47, 54	圃場C:0.01 (1回, 40日)
みずな (茎葉)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種12日前	38	圃場A:<0.005
					は種12日前	38	圃場B:<0.005
みずな (茎葉)	2	98.0% GR	50 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種12日前	38	圃場A:0.006 (#)
					は種12日前	38	圃場B:0.014 (#)

ダズメットの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) ^{注2) 注3) 注4)}	設定の根拠等
		剤型 ^{注1)}	使用量・使用方法	回数	使用時期		
みぶな (茎葉)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種14日前	35, 38, 42	圃場A:<0.009 (1回, 35日)
					は種11日前	32, 35, 39	圃場B:<0.009 (1回, 32日)
チンゲンサイ (茎葉)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	48	圃場A:<0.002
						47	圃場B:<0.002
カリフラワー (花蕾)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植24日前	79	圃場A:<0.002
					定植21日前	125	圃場B:<0.002
ブロッコリー (花蕾)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	76	圃場A:<0.002
						113	圃場B:<0.002
しろな (茎葉)	1	98.0% GR	15 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種18日前	50	圃場A:<0.01
					30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種18日前
ひろしな (茎葉)	1	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	44	圃場B:<0.004
					定植11日前	56, 66	圃場A:<0.004 (1回, 定植11日前, 56日) (#)
つぼみ (茎葉)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	66, 76	圃場A:<0.004 (1回, 定植21日前, 66日)
					定植11, 21日前	83, 93	圃場B:<0.004 (1回, 定植21日前, 93日)
ごぼう (根節)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種21日前	85	圃場A:<0.032
						83	圃場B:<0.009
しゅんぎく (茎葉)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種12日前	185	圃場A:<0.004 (#)
						182	圃場B:<0.004 (#)
レタス (茎葉)	4	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種21日前	57	圃場A:<0.004 (#)
					74	圃場B:0.011 (#)	
葉ごぼう (茎葉及び根節)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種14日前	63	圃場A:<0.004
					59	圃場B:0.004	
やまごぼう (根節)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種14日前	54, 61, 68	圃場C:<0.02 (1回, 54日)
					58, 65, 72	圃場D:<0.02 (1回, 58日)	
ふき (可食部)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種14, 21, 24日前	91, 98, 101	圃場A:<0.02 (1回, は種24日前, 91日) (#)
					圃場B:<0.02 (1回, は種24日前, 91日) (#)		
食用ぎく (花全体)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種21日前	161, 168, 175	圃場A:<0.008 (1回, 161日)
					圃場B:<0.008 (1回, 161日)		
たまねぎ (鱗茎)	2	98.0% GR	400 g/m ² (苗床) 土壌混和处理	1	定植22日前	353	圃場A:<0.006
					定植21日前	110	圃場B:<0.006
葉たまねぎ (葉及び鱗茎)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	127	圃場A:<0.004
					定植19日前	144	圃場B:<0.004 (#)
ねぎ (茎葉)	2	98.0% GR	30 g/m ² (苗床) 土壌混和处理	1	は種17日前	270	圃場A:<0.005 (#)
					は種15日前	273	圃場B:0.015 (#)
たまねぎ (鱗茎)	2	98.0% GR	20 g/m ² (苗床) 土壌混和处理	1	は種14日前	255	圃場A:<0.002
					239	圃場B:<0.002	
たまねぎ (鱗茎)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	245	圃場A:0.009
					定植22日前	200	圃場B:0.009
たまねぎ (鱗茎)	2	98.0% GR	60 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	131, 138, 145	圃場A:0.02 (1回, 131日)
					224, 231, 238	圃場B:<0.02 (1回, 224日)	
たまねぎ (鱗茎)	2	98.0% GR	400 g/m ² (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	1+I	は種17日前+定植35日前	236	圃場A:0.034 (#)
					は種15日前+定植34日前	184	圃場B:0.016 (#)
たまねぎ (鱗茎)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種14日前	179	圃場A:<0.02
					は種15日前	171	圃場B:<0.02
たまねぎ (鱗茎)	2	98.0% GR	30 g/m ² (苗床)+20 kg/10 a 土壌混和处理	1+I	は種14日前+定植20日前	115	圃場A:0.002 (#)
					は種22日前+は種20日前	164	圃場B:0.004 (#)
たまねぎ (鱗茎)	2	98.0% GR	30 g/m ² (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	1+I	は種14日前+定植20日前	115	圃場A:0.002 (#)
					は種22日前+は種20日前	164	圃場B:0.004 (#)
たまねぎ (鱗茎)	2	98.0% GR	30 g/m ² (苗床) 土壌混和处理	1	は種14日前	335	圃場A:<0.002
					は種22日前	245	圃場B:0.002
たまねぎ (鱗茎)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	115	圃場C:0.002
					164	圃場D:0.004	
たまねぎ (鱗茎)	4	98.0% GR	60 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	141, 148, 155	圃場A:<0.02 (1回, 141日)
					84, 91, 98	圃場B:<0.02 (1回, 84日)	
たまねぎ (鱗茎)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植14日前	172, 179, 186	圃場C:<0.02 (1回, 172日)
					55, 62, 69	圃場D:<0.02 (1回, 55日)	
たまねぎ (鱗茎)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	136	圃場A:<0.002
					97	圃場B:0.009	
たまねぎ (鱗茎)	2	98.0% GR	30 g/m ² (苗床) 土壌混和处理	1	は種18日前	245	圃場A:<0.002 (#)
					は種16日前	252	圃場B:<0.002 (#)
たまねぎ (鱗茎)	2	98.0% GR	30 g/m ² (苗床)+20 kg/10 a 土壌混和处理	1+I	は種18日前+定植20日前	136	圃場A:<0.002 (#)
					は種16日前+定植20日前	97	圃場B:0.010 (#)
たまねぎ (鱗茎)	2	98.0% GR	30 g/m ² (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	1+I	は種18日前+定植20日前	136	圃場A:<0.002 (#)
					は種16日前+定植20日前	97	圃場B:0.014 (#)
にんにく (鱗片)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付27日前	289	圃場A:0.021
					植付22日前	295	圃場B:<0.004
にら (茎葉)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	213	圃場A:<0.006
					144	圃場B:<0.006	
にら (茎葉)	3	96.5% GR	60 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	104, 111, 118	圃場A:<0.01 (1回, 104日)
						124, 131, 138	圃場B:<0.01 (1回, 124日)
						174, 181, 188	圃場C:<0.01 (1回, 174日)

ダズメットの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				経過日数	残留濃度 (mg/kg) ^{注2)注3)注4)}	設定の根拠等
		剤型 ^{注1)}	使用量・使用方法	回数	使用時期			
わけぎ (葉及び鱗茎)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植14, 21, 28日前	47, 48, 54	圃場A:0.014 (1回, 48日)	◎
		98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植14, 21, 28日前	47, 54	圃場B:<0.009 (1回, 48日)	
らっきょう (鱗茎)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付20日前	292	圃場A:0.016	◎
					植付31日前	314	圃場B:0.013	
にんじん (根部)	3	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	154	圃場A:<0.005	◎
					は種21日前	126	圃場B:<0.005	
					は種26日前	124	圃場C:<0.005	
	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	154	圃場A:<0.005	
					は種21日前	126	圃場B:<0.005	
					は種26日前	124	圃場C:<0.005	
2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種26日前	92	圃場D:<0.005		
				は種21日前	83	圃場E:<0.005		
				は種21日前	83	圃場E:<0.005		
バセリ (茎葉)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	80, 94	圃場A:0.005 (1回, 80日)	◎
						80, 95	圃場B:0.006 (1回, 80日)	
セルリー (茎葉)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	91	圃場A:0.002	◎
						114	圃場B:0.002	
みつば (茎葉)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種21日前	80	圃場A:<0.02	◎
						130	圃場B:<0.02	
あしたば (茎葉)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種10, 21日前	248, 259	圃場A:<0.04 (1回, 248日)	◎
						223, 237	圃場B:<0.04 (1回, 223日)	
トマト (果実)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	83	圃場A:<0.005	◎
					定植22日前	92	圃場B:<0.005	
	2	98.0% GR	60 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	71, 78, 85	圃場A:<0.014 (1回, 71日) (\$))	
ミニトマト (果実)	2	98.0% GR	60 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	77, 84, 91	圃場B:0.104 (1回, 77日)	◎
						98, 105, 112	圃場A:<0.02 (1回, 98日)	
ピーマン (果実)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21、27、42日前	80, 87, 94	圃場B:<0.02 (1回, 80日)	◎
						72, 78, 93	圃場A:<0.02 (1回, 72日)	
なす (果実)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	66	圃場A:<0.005	◎
					定植21日前	51	圃場B:<0.005	
甘長とうがらし (果実)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植23日前	106	圃場A:0.003	◎
					定植21日前	73	圃場B:<0.002	
ししとう (果実)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	84	圃場A:<0.004	◎
						76	圃場B:<0.004	
きゅうり (果実)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	67	圃場A:<0.005	◎
					定植20日前	55	圃場B:0.026	
	10	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	67	圃場A:<0.005	
					定植20日前	55	圃場B:0.032	
					定植20日前	54	圃場C:0.002	
					定植20日前	58	圃場D:0.003	
					定植23日前	75	圃場E:0.025	
					定植20日前	47	圃場F:0.014	
					定植16日前	45	圃場G:0.036 (#)	
					定植29日前	64	圃場H:0.033	
					定植21日前	55	圃場I:0.005	
					定植11日前	49	圃場J:<0.002 (#)	
	10	98.0% GR	400 g/m ³ (苗床) 土壌混和处理	1	は種16日前	106	圃場A:<0.005 (#)	
					は種18日前	79	圃場B:<0.005 (#)	
					は種21日前	90	圃場C:<0.002	
					は種11日前	70	圃場D:0.003 (#)	
は種2日前					83	圃場E:0.006 (#)		
は種21日前					73	圃場F:0.003		
は種11日前	66	圃場G:<0.002 (#)						
は種7日前	68	圃場H:<0.002 (#)						
は種14日前	71	圃場I:0.016 (#)						
は種1日前	74	圃場J:0.005 (#)						

ダズメットの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) <small>注2)注3)注4)</small>	設定の根拠等	
		剤型 ^{注1)}	使用量・使用方法	回数	使用時期			
きゅうり (果実)	8	98.0% GR	400 g/m ³ (苗床)+20 kg/10 a 土壌混和处理	1+1	は種21日前+定植20日前	54	圃場A:<0.002 (#)	
					は種11日前+定植20日前	58	圃場B:0.003 (#)	
					は種2日前+定植23日前	75	圃場C:0.016 (#)	
					は種21日前+定植20日前	47	圃場D:0.030 (#)	
					は種11日前+定植21日前	55	圃場E:0.004 (#)	
					は種7日前+定植11日前	49	圃場F:<0.002 (#)	
					は種14日前+定植16日前	45	圃場G:0.026 (#)	
					は種1日前+定植29日前	64	圃場H:0.028 (#)	
	10	98.0% GR	400 g/m ³ (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	1+1	は種16日前+定植21日前	67	圃場A:<0.005 (#)	
					は種18日前+定植20日前	55	圃場B:0.046 (#)	
					は種21日前+定植20日前	54	圃場C:0.003 (#)	
					は種11日前+定植20日前	58	圃場D:0.005 (#)	
					は種2日前+定植23日前	75	圃場E:0.020 (#)	
					は種21日前+定植20日前	47	圃場F:0.029 (#)	
					は種11日前+定植21日前	55	圃場G:0.002 (#)	
					は種7日前+定植11日前	49	圃場H:<0.002 (#)	
	かぼちゃ (果実)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植23日前	139	圃場A:0.014
						定植20日前	89	圃場B:0.015
2		98.0% GR	400 g/m ³ (苗床) 土壌混和处理	1	は種16日前	139	圃場A:<0.002 (#)	
					は種14日前	112	圃場B:0.002 (#)	
2	98.0% GR	400 g/m ³ (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	1+1	は種16日前+定植23日前	139	圃場A:0.010 (#)		
				は種14日前+定植20日前	89	圃場B:0.006 (#)		
すいか (果肉)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	90	圃場A:<0.005	
					定植20日前	81	圃場B:<0.005	
	2	98.0% GR	400 g/m ³ (苗床) 土壌混和处理	1	は種20日前	112	圃場A:<0.005	
					は種14日前	132	圃場B:<0.005 (#)	
	2	98.0% GR	400 g/m ³ (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	1+1	は種14日前+定植20日前	90	圃場A:<0.005 (#)	
					は種20日前+定植20日前	81	圃場B:<0.005 (#)	
メロン (果肉)	2	98.0% GR	40 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植13日前	82	圃場A:0.002 (#)	
					定植16日前	90	圃場B:0.002 (#)	
	2	98.0% GR	400 g/m ³ (苗床) 土壌混和处理	1	は種9日前	93	圃場C:<0.002 (#)	
					は種14日前	103	圃場D:<0.002 (#)	
	2	98.0% GR	400 g/m ³ (苗床)+40 kg/10 a 土壌混和处理	1+1	は種9日前+定植13日前	82	圃場A:0.002 (#)	
					は種14日前+定植16日前	90	圃場B:0.002 (#)	
にがうり (果実)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	81	圃場A:<0.01	
					定植22日前	63	圃場B:0.02	
ほうれんそう (茎葉)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	60	圃場A:0.005	
					は種22日前	53	圃場B:0.005	
					は種20日前	60	圃場A:0.005	
					は種22日前	53	圃場B:0.008	
	9	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種10, 14日前	52, 56	圃場C:0.018 (1回, は種14日前, 56日)	
					は種10, 14日前	45, 49	圃場D:0.018 (1回, 45日)	
					は種10, 14日前	50, 55	圃場E:0.058 (1回, は種14日前, 50日)	
					は種10日前	55	圃場F:0.025	
					は種10日前	41	圃場G:<0.002	
					は種10日前	39	圃場H:0.028	
					は種10日前	47	圃場I:0.005	
					は種10日前	51	圃場J:0.012	
は種10日前	48	圃場K:0.008						
しょうが (根茎)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	191	圃場A:<0.005	
					定植24日前	202	圃場B:<0.005	
	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	191	圃場A:<0.005	
					定植24日前	202	圃場B:<0.005	
	2	98.0% GR	60 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	197, 204, 211 224, 231, 238	圃場A:<0.014 (1回, 197日) (\$) 圃場B:<0.014 (1回, 224日) (\$)	
					定植21日前	97, 104, 111	圃場B:<0.008 (1回, 97日)	
葉しょうが (根茎及び茎)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植23日前	115, 120, 127	圃場A:<0.008 (1回, 115日)	
えんどう (未成熟子実)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	200	圃場A:<0.002	
					は種28日前	112	圃場B:0.003	
さやえんどう (さや)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種28日前	161	圃場A:0.004	
					は種20日前	96, 103	圃場B:0.011 (1回, 103日)	
未成熟いんげん (さや)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種21日前	69	圃場A:<0.004	
					は種21日前	82	圃場B:<0.004	
えだまめ (さや)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	82	圃場A:<0.0065 (\$)	
					定植21日前	79	圃場B:<0.0065 (\$)	
モロヘイヤ (茎葉)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植30日前	92, 99	圃場A:<0.008 (1回, 92日)	
					定植33日前	101, 108	圃場B:<0.008 (1回, 101日)	
つるむらさき (茎葉)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植22日前	57	圃場A:<0.004	
					定植22日前	57	圃場B:<0.004	
2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植22日前	57	圃場A:<0.004		
				定植22日前	57	圃場B:<0.004		

ダズメットの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) ^{注2) 注3) 注4)}	設定の根拠等
		剤型 ^{注1)}	使用量・使用方法	回数	使用時期		
さといも (葉柄)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	125	圃場A:<0.009 圃場B:<0.009
いちご (果実)	1	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	68	圃場A:<0.005
	2	98.0% GR	30 kg/10 a (本圃) 土壌混和处理	1	定植20日前	164	圃場A:<0.005
						124	圃場B:0.005
	2	98.0% GR	30 kg/10 a (仮苗床) 土壌混和处理	1	仮植17日前	215	圃場A:<0.005 (#)
						184	圃場B:<0.005 (#)
2	98.0% GR	30 kg/10 a (仮苗床) +30 kg/10 a (本圃) 土壌混和处理	1+1	仮植17日前+定植20日前	164	圃場A:<0.005 (#)	
					124	圃場B:<0.005 (#)	
チャービル (茎葉)	2	98.0% GR	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種42日前	112	圃場A:<0.01
					は種41日前	87	圃場B:<0.01
みょうが (可食部)	2	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植49日前	143	圃場A:<0.002
					定植40日前	172	圃場B:0.002 (#)
しそ (茎葉)	4	98.0% GR	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種13, 21, 30日前	104, 110, 124	圃場A:0.004 (1回, は種13日前, 104日)
					は種14, 20, 30日前	112	圃場B:0.005 (1回, は種30日前, 112日)
					定植14, 21日前	42, 49	圃場C:<0.01 (1回, 42日)
						69, 76	圃場D:0.09 (1回, 69日)

GR: 粉粒剤

(＃)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価に使用されているものに◎で示した。

注1) 96.5% GRは分析法の違いによる見かけ上の数値の違いで、98.0% GRと同一の製剤である。

注2) メチルイソチオシアネート濃度を示した。

注3) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

注4) 表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について () 内に記載した。

§) 同一圃場から採取された1つのサンプルを2つの分析機関に分けて測定されており、結果を平均値として示したため、実際の定量限界とは異なる。

メタムアンモニウムの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) ^{注1) 注2)}	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期		
たまねぎ (りん茎)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種24日前処理	280	圃場A:<0.006
					は種28日前処理	259	圃場B:<0.006
こんにゃく (球茎)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	植付24日前処理	169	圃場A:<0.005
					植付26日前処理	171	圃場B:<0.005
きゅうり (果実)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	植付17日前処理	56	圃場A:<0.003
					植付14日前処理	58	圃場B:<0.003
すいか (果実)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	植付14日前処理	91	圃場A:0.003
					植付22日前処理	107	圃場B:<0.003
キャベツ (葉球)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	植付14日前処理	69	圃場A:<0.003
						77	圃場B:<0.003
はくさい (茎葉)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	植付14日前処理	75	圃場A:<0.003
						97	圃場B:<0.003
根深ねぎ (茎葉)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種20日前処理	269	圃場A:<0.003
					は種14日前処理	253	圃場B:<0.003
葉ねぎ (茎葉)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種20日前処理	269	圃場A:<0.003
					は種14日前処理	224	圃場B:<0.003
だいこん (根部)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種14日前処理	74, 78	圃場A:<0.003 (1回, 74日)
						62	圃場B:<0.003
だいこん (葉部)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種14日前処理	74, 78	圃場A:<0.003 (1回, 74日)
						62	圃場B:<0.003
だいこん(つまみ菜) (茎葉部)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種14日前処理	24	圃場A:<0.003
						23	圃場B:<0.003
だいこん(間引き菜) (茎葉部)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種14日前処理	35	圃場A:<0.003
						34	圃場B:<0.003
トマト (果実)	2	50.0% SL	3倍希釈 90 L/10 a 土壌混和処理	1	作付37日前処理	115	圃場A:<0.003
					作付17日前処理	96	圃場B:<0.003
ほうれんそう (茎葉)	4	50.0% SL	100倍希釈 3000 L/10 a 灌水 ^{チューブ} 処理	1	は種15日前処理	60	圃場A:0.008
						55	圃場B:0.007
					は種14日前処理	54, 61, 68	圃場C:0.014 (1回, 54日)
						48, 55, 62	圃場D:0.014 (1回, 48日)
いちご (果実)	2	50.0% SL	100倍希釈 4000 L/10 a 灌水 ^{チューブ} 処理	1	植付14日前処理	104	圃場A:<0.003 (#)
					植付13日前処理	118	圃場B:<0.003 (#)

SL: 液剤

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注1) メチルイソチオシアネートを示した。

注2) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験(いわゆる最大使用条件下の作物残留試験)を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について()内に記載した。

メタムナトリウムの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) <small>注1)注2)</small>	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期		
ばれいしょ (塊茎)	1	30.0% AL	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	植付21日前	134	圃場A:0.025
	1		原液 80 L/10 a 土壌注入	1	植付16日前	104	圃場A:0.005 (#)
さといも (塊茎)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	植付20日前	196	圃場A:<0.005
	2		原液 60 L/10 a 土壌注入		植付17日前	230	圃場B:<0.005
かんしょ (塊根)	2	30.0% AL	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	定植17日前	195	圃場A:<0.003
					定植22日前	144	圃場B:<0.003
やまのいも (塊茎)	2	30.0% AL	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	定植27日前	196	圃場A:<0.0075 (\$)
					定植29日前	209	圃場B:<0.0075 (\$)
こんにゃく (球茎)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	植付32日前	166, 177	圃場A:<0.005 (1回, 植付32日前, 166日)
	2		原液 60 L/10 a 土壌注入		植付19日前	159, 169	圃場B:0.006 (1回, 植付19日前, 159日)
だいこん (葉部)	4	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前	74	圃場A:<0.003 (\$)
			3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		は種18日前	77	圃場C:<0.003 (\$)
だいこん (根部)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種17日前	69	圃場D:0.006
			3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		は種21日前	74	圃場A:<0.003
だいこん (幼葉) (つまみ菜・間引き菜)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種18日前	98	圃場B:<0.006
					は種17日前	69	圃場C:<0.003
かぶ (根部)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前	28, 35	圃場A:0.032 (1回, は種21日前, 28日)
					は種18日前	31, 38	圃場B:0.030 (1回, は種18日前, 31日)
かぶ (葉部)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種17日前	122	圃場A:<0.005
					は種18日前	66	圃場B:<0.005
はくさい (茎葉)	2	30.0% AL	2倍希釈 160 L/10 a 土壌散布混和	1	作付15日前	78	圃場A:<0.005 (#)
					作付18日前	130	圃場B:<0.005 (#)
キャベツ (茎葉)	4	30.0% AL	原液 80 L/10 a 土壌注入	1	定植17日前	98	圃場A:<0.005 (#)
					定植18日前	130	圃場B:0.006 (#)
ブロッコリー (花蕾)	2	30.0% AL	原液 63.3 L/10 a 土壌注入	1	定植14日前	90	圃場A:<0.006
			原液 60 L/10 a 土壌注入		定植16日前	98	圃場B:<0.006
ごぼう (根部)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前	161	圃場A:<0.005
					は種21日前	182	圃場B:<0.005
レタス (茎葉)	2	30.0% AL	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	定植17日前	63	圃場A:<0.003
					定植17日前	60	圃場B:0.003
たまねぎ (鱗茎)	2	30.0% AL	8倍希釈 640 L/10 a 土壌表面散布	1	は種20日前	174	圃場A:<0.003
			7倍希釈 560 L/10 a 土壌表面散布		は種16日前	296	圃場B:0.006
ねぎ (茎葉)	5	30.0% AL	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	定植21日前	66	圃場A:<0.003
			3倍希釈 60 L/10 a 土壌散布混和		移植17日前	61	圃場B:0.004
にんにく (鱗茎)	2	30.0% AL	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	定植23日前	195	圃場C:<0.002
					3.7倍希釈 222 L/10 a 土壌散布混和	定植17日前	84
にら (茎葉)	2	30.0% AL	100倍希釈 6000 L/10 a 土壌表面散布 (灌水処理)	1	定植14日前	167	圃場B:<0.002
					定植17日前	293	圃場A:0.02
にら (花茎)	2	30.0% AL	42倍希釈 2500 L/10 a 土壌表面散布 (灌水処理)	1	定植27日前	278	圃場B:0.02
					定植21日前	213	圃場A:<0.005
にんじん (根部)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植14日前	137	圃場B:0.005
			3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		定植10日前	107, 114, 121	圃場A:0.01 (1回, 107日)
にんじん (根部)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前	126, 133	圃場A:<0.003 (1回, は種21日前, 126日) (\$)
					3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	は種20日前	145, 152
にんじん (根部)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種17日前	127	圃場A:<0.003
					3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	は種21日前	126, 133

メタムナトリウムの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)注2)		設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数		
トマト (果実)	4	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植27日前	76	圃場A:0.004 (1回, 定植10日前, 49日)	
			3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		定植21日前	79	圃場B:<0.003 (\$)	
					定植17日前	67	圃場C:<0.003 (\$)	
					定植26日前	108	圃場D:<0.003 (\$)	
ピーマン (果実)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植20日前	70	圃場A:0.006	
			原液 80 L/10 a 土壌注入		定植18日前	59	圃場B:<0.005 (\$)	
	2			1	定植24日前	75	圃場A:<0.01 (#)	
			定植21日前		83	圃場B:<0.01 (#)		
なす (果実)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植17日前	59	圃場A:<0.005	◎
			77			圃場B:<0.005		
	2		1	原液 80 L/10 a 土壌注入	定植21日前	84	圃場A:<0.01 (#)	
					76	圃場B:<0.01 (#)		
きゅうり (果実)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植10日前	49, 56	圃場A:0.004 (1回, 定植10日前, 49日) (#)	
			3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		定植21日前	62, 69	圃場B:<0.003 (1回, 定植21日前, 62日) (\$)	
	定植18日前				46	圃場A:<0.003		
	定植24日前				86	圃場B:0.004		
かぼちゃ (果実)	3	30.0% AL	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	定植20日前	109	圃場A:<0.003	
			5倍希釈 300 L/10 a 土壌散布混和		定植17日前	87	圃場B:0.003	
					定植27日前	99	圃場C:0.012	
すいか (果肉)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植21日前	86	圃場A:<0.005	
			100倍希釈 6000 L/10 a 土壌表面散布			91	圃場B:<0.005	
	184					圃場A:<0.003		
	2		3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	定植17日前	104	圃場B:<0.003		
				2	0.4 L/m ² (床土) +原液 60 L/10 a (本圃) 土壌注入	定植39日前		77
	定植17日前		91			圃場B:0.022 (#)		
メロン (果肉)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植21日前	106	圃場A:<0.005	◎
			100倍希釈 8000 L/10 a 土壌表面散布		定植32日前	113	圃場B:<0.005	
	定植36日前				137	圃場A:<0.005		
	定植17日前				96	圃場B:<0.005		
ほうれんそう (茎葉)	4	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種17日前	51, 64	圃場A:0.036 (1回, は種17日前, 51日) (#)	
			3倍希釈 60 L/10 a 土壌散布混和		51, 58	圃場B:0.026 (1回, は種17日前, 58日) (#)		
					は種19日前	55	圃場C:0.004 (#)	
					は種20日前	50	圃場D:0.003 (#)	
チンゲンサイ (茎葉)	2	30.0% AL	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	定植21日前	44	圃場A:0.015	◎
みずな (茎葉)	2	30.0% AL	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前	55	圃場A:0.06	◎
						49	圃場B:0.02	
しょうが (塊茎)	2	30.0% AL	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	定植27日前	195	圃場A:<0.004 (\$)	
					定植41日前	229	圃場B:<0.004 (\$)	
未成熟えんどう (さや)	3	30.0% AL	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	は種18日前	121	圃場A:0.009	
					は種19日前	140	圃場B:<0.003	
					定植20日前	82	圃場C:<0.002	
みょうが (花穂)	2	30.0% AL	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	定植33日前	230	圃場A:<0.002	
					定植17日前	76	圃場B:<0.002	
いちご (果実)	2	30.0% AL	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植21日前	158, 165	圃場A:<0.005 (1回, 定植21日前, 158日) (#)	
			3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和			140, 148	圃場B:<0.005 (1回, 定植21日前, 140日) (#)	
	植付17日前				96	圃場A:<0.003		
	植付18日前				131	圃場B:<0.003		

AL: 液剤 (直接適用)

(＃)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。基準値の設定根拠及び暴露評価に使用されているものに◎で示した。

注1) メチルイソチオシアネートを示した。

注2) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に使い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数、使用時期及び経過日数について () 内に記載した。

§) 同一圃場から採取された1つのサンプルを2つの分析機関に分けて測定されており、結果を平均値として示したため、実際の定量限界とは異なる。

メチルイソチオシアネートの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期		
やまのいも (塊茎)	3	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付30日前処理	197	圃場A:0.052
					植付36日前処理	243	圃場B:<0.004
					植付20日前処理	167, 174, 181	圃場C:<0.01 (1回, 181日)
こんにゃく (球茎)	3	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付21日前処理	178	圃場A:0.006
					植付16日前処理	162	圃場B:<0.004 (#)
					植付21日前処理	197	圃場C:<0.005
だいこん (根部)	6	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種15日前処理	86	圃場A:<0.04
					は種19日前処理	82	圃場B:<0.04
					は種21日前処理	76	圃場C:<0.02
	20.0% OL	は種21日前処理	81	圃場D:<0.02			
		は種14日前処理	69, 76, 83	圃場E:<0.01 (1回, 69日)			
		は種14日前処理	61, 69, 75	圃場F:<0.01 (1回, 61日)			
だいこん (葉部)	6	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種15日前処理	86	圃場A:<0.04
					は種19日前処理	82	圃場B:<0.04
					は種21日前処理	76	圃場C:<0.01
		20.0% OL	は種21日前処理	81	圃場D:<0.01		
			は種14日前処理	69, 76, 83	圃場E:<0.01 (1回, 69日)		
は種14日前処理	61, 69, 75	圃場F:<0.01 (1回, 61日)					
だいこん (つまみ菜・間引き菜)	2	20.0% OL	40 L/10 a 土壌注入	1	は種14日前処理	22, 28	圃場A:<0.01 (1回, 22日)
かぶ (根部)	2	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種28日前処理	76	圃場A:<0.005
					は種30日前処理	78	圃場B:<0.005
かぶ (葉部)	2	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種28日前処理	76	圃場A:<0.005
					は種30日前処理	78	圃場B:<0.005
はくさい (茎葉)	2	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付34日前処理	108	圃場A:<0.005
					植付22日前処理	90	圃場B:<0.005
キャベツ (葉球)	2	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付21日前処理	176	圃場A:<0.005
					植付20日前処理	86	圃場B:<0.005
ごぼう (根部)	2	20.0% OL	40 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前処理	191, 198, 205	圃場A:<0.01 (1回, 191日)
					は種21日前処理	161, 168, 175	圃場B:<0.01 (1回, 161日)
レタス (茎葉)	2	20.0% OL	40 L/10 a 土壌注入	1	植付21日前処理	116, 123, 130	圃場A:<0.01 (1回, 116日)
					植付21日前処理	52, 59, 66	圃場B:<0.01 (1回, 52日)
たまねぎ (鱗茎)	2	20.0% OL 配合剤	46.2 L/10 a 土壌注入	1	植付14日前処理	194, 201, 208	圃場A:<0.01 (1回, 植付14日前, 194日)
			植付21日前処理		201, 208, 215		
			40 L/10 a 土壌注入		植付14日前処理	185, 192, 199	圃場B:<0.01 (1回, 植付14日前, 192日)
ねぎ (根深ねぎ) (茎葉)	3	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付21日前処理	182	圃場A:<0.005
					植付31日前処理	146	圃場B:<0.005
					植付14日前処理	173, 180, 187	圃場C:<0.02 (1回, 植付13日前, 173日)
ねぎ (葉ねぎ) (茎葉)	2	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付27日前処理	113, 120, 127	圃場A:<0.01 (1回, 植付27日前, 113日)
					植付14日前処理	88, 95, 102	圃場B:<0.02 (1回, 植付14日前, 88日)
にんにく (鱗茎)	2	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付28日前処理	292	圃場A:0.032 (#)
					植付28日前処理	239	圃場B:<0.005 (#)
らっきょう (鱗茎)	2	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付24日前処理	305	圃場A:<0.005
					植付21日前処理	292	圃場B:0.008
にんじん (根部)	5	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種15日前処理	134, 197	圃場A:<0.05 (1回, は種15日前, 134日) (#)
					は種20日前処理	185	圃場B:<0.05
					は種27日前処理	143	圃場C:<0.004
			44.4 L/10 a 土壌注入		は種28日前処理	147	圃場D:<0.004
					は種17日前処理	166, 233	圃場E:<0.05 (1回, は種17日前, 166日) (#)
トマト (果実)	2	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付18日前処理	71, 84	圃場A:0.012 (1回, 植付18日前, 71日) (#)
					植付17日前処理	65, 73	圃場B:<0.0045 (1回, 植付17日前, 65日) (#) (\$)
ミニトマト (果実)	4	20.0% OL	40 L/10 a 土壌注入	1	植付17日前処理	80, 87, 94	圃場A:0.03 (1回, 植付17日前, 80日) (#)
					植付18日前処理	98, 105, 112	圃場B:<0.01 (1回, 植付18日前, 98日) (#)
					植付21日前処理	88, 94, 101	圃場C:<0.01 (1回, 101日)
					植付21日前処理	80, 86, 93	圃場D:<0.01 (1回, 93日)
なす (果実)	4	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付19日前処理	54, 75	圃場D:0.012 (1回, 植付19日前, 54日) (#)
			30 L/10 a 土壌注入		植付18日前処理	71, 84	圃場B:<0.0045 (1回, 植付18日前, 71日) (#) (\$)
					植付21日前処理	88, 94, 101	圃場C:<0.005 (1回, 101日)
					植付21日前処理	80, 86, 93	圃場D:<0.005 (1回, 93日)
きゅうり (果実)	4	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付15日前処理	52, 77	圃場A:<0.003 (1回, 植付15日前, 52日) (#)
					植付15日前処理	65, 76, 88	圃場B:<0.003 (1回, 植付15日前, 65日) (#)
					植付21日前処理	54, 63, 75	圃場C:0.006 (1回, 63日)
					植付21日前処理	67, 78, 88	圃場D:0.005 (1回, 67日)
すいか (果肉)	2	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付21日前処理	94	圃場A:0.007
					植付22日前処理	114	圃場B:<0.005

メチルイソチオシアネートの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期		
メロン (果肉)	2	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付28日前処理	112	圃場A:<0.005
					植付30日前処理	113	圃場B:<0.005
ほうれんそう (茎葉)	5	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種28日前処理	89	圃場A:0.026
					は種29日前処理	72	圃場B:0.006
					は種28日前処理	66	圃場C:0.031
					は種28日前処理	57	圃場D:0.015
					は種30日前処理	78, 80, 84	圃場E:<001 (1回, 84日)
しょうが (根茎)	2	20.0% OL	40 L/10 a 土壌注入	1	植付20日前処理	159, 166, 173	圃場A:<0.01 (1回, 植付20日前, 159日)
					植付21日前処理	228, 235, 242	圃場B:<0.01 (1回, 228日)
ふき (可食部)	2	20.0% OL	40 L/10 a 土壌注入	1	植付28日前処理	140	圃場A:<0.005) (#)
					植付28日前処理	155	圃場B:<0.005) (#)
いちご	2	20.0% OL 配合剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付22日前処理	206	圃場A:<0.0045 (\$))
					植付17日前処理	237	圃場B:<0.0045 (\$))

OL: 油剤

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価に使用されているものに◎で示した。

注1) 表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数、使用時期及び経過日数について () 内に記載した。

§) 同一圃場から採取された1つのサンプルを2つの分析機関に分けて測定されており、結果を平均値として示したため、実際の定量限界とは異なる。

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
らっかせい	0.05		申			D:<0.01,<0.01(¥)
ばれいしょ	0.09	0.2	○			D:0.01~0.047(n=4)
さといも類(やつがしらを含む。)	0.02	0.02	○			Na:<0.003,<0.003(¥)
かんしょ	0.02	0.02	○			Na:<0.005,<0.005(¥)
やまいも(長いもをいう。)	0.1	0.3	○			MITC:<0.004,<0.01,0.052
こんにやくいも	0.05	0.05	○			Na:<0.01,<0.01(¥)
てんさい	0.02	0.02	○			D:<0.005,<0.005(¥)(#)
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.05	0.04	○			MITC:<0.01,<0.01(¥)
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	0.2	2	○			Na:0.030,0.032(¥)(つまみ菜、間引き菜)
かぶ類の根	0.02	0.01	○			Na:<0.005,<0.005(¥)
かぶ類の葉	0.02	0.01	○			Na:<0.005,<0.005(¥)
はくさい	0.01	0.01	○			D:<0.005~<0.006(n=4)
キャベツ	0.02	0.02	○			MITC:<0.005,<0.005(¥)
ケール	0.03	0.02	○			(こまつな参照)
こまつな	0.03	0.02	○			D:0.003,0.003,0.01
きょうな	0.3	0.3	○			Na:0.02,0.06(¥)(みずな)
チンゲンサイ	0.1	0.1	○			Na:<0.01,0.015(¥)
カリフラワー	0.01	0.01	○			D:<0.002,<0.002(¥)
ブロッコリー	0.03	0.03	○			Na:<0.006,<0.006(¥)
その他のあぶらな科野菜	0.2	0.2	○			D:<0.009,0.032(¥)(つぼみな)
ごぼう	0.05	0.05	○			MITC:<0.01,<0.01(¥)
しゅんぎく	0.05	0.05	○			D:<0.004,0.011(¥)
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.1	0.05	○			D:<0.02,<0.02(¥)
その他のきく科野菜	0.1	0.1	○			D:<0.02,<0.02(¥)(葉ごぼう)
たまねぎ	0.1	0.1	○			D:<0.02,0.02(¥)
ねぎ(リーキを含む。)	0.1	0.02	○			D:<0.02,0.02(¥)
にんにく	0.1	0.2	○			Na:0.02,0.02(¥)
にら	0.01	0.02	○			D:<0.01,<0.01,<0.01
わけぎ	0.1	0.1	○			D:<0.009,0.018(¥)
その他のゆり科野菜	0.1	0.1	○			D:0.013,0.016(¥)(らっきょう)
にんじん	0.05	0.05	○			MITC:<0.004,<0.004,<0.05
パセリ	0.03	0.03	○			D:0.005,0.006(¥)
セロリ	0.01	0.01	○			D:0.002,0.002(¥)
みつば	0.1	0.1	○			D:<0.02,<0.02(¥)
その他のせり科野菜	0.2	0.2	○			D:<0.04,<0.04(¥)(あしたば)
トマト	0.5	0.5	○			D:<0.014,0.104(¥)
ピーマン	0.1	0.1	○			D:<0.02,<0.02(¥)
なす	0.02	0.05	○			Na:<0.005,<0.005(¥)
その他のなす科野菜	0.02	0.02	○			D:<0.004,<0.004(¥)(ししとう)
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.07	0.08	○			D:0.002~0.033(n=8)
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.1	0.1	○			D:0.014,0.015(¥)
すいか	0.03	0.05	○			MITC:<0.005,0.007(¥)
メロン類果実	0.02	0.02	○			Na:<0.005,<0.005(¥)
その他のうり科野菜	0.1	0.1	○			D:<0.01,0.02(¥)(にがうり)
ほうれんそう	0.09	0.1	○			D:<0.002~0.058(n=9)
しょうが	0.1	0.1	○			D:<0.014,<0.014(¥)
未成熟えんどう	0.05	0.1	○			D:0.004,0.011(¥)(さやえんどう)
未成熟いんげん	0.02	0.02	○			D:<0.004,<0.004(¥)
えだまめ	0.03	0.05	○			D:<0.0065,<0.0065(¥)
その他の野菜	0.05	0.1	○			(未成熟えんどう参照)
いちご	0.02	0.02	○			D:<0.005,0.005(¥)
その他のハーブ	0.2	0.3	○			D:0.004~0.09(n=4)(しそ)
はちみつ	0.05					※

太枠:本基準(暫定基準以外の基準)を見直した基準値

○:既に、国内において登録等がされているもの

申:農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの

(#):適用の範囲内で試験が行われていない作物残留試験成績

(¥):基準値設定の根拠とした作物残留試験成績(最大値)

作物残留試験成績等については、Dはダゾメット、Naはメタムナトリウム及びMITCはメチルイソチオシアネートを表している。

※「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和6年6月25日食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会)の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

ダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの推定摂取量 (単位: µg/人/day)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1~6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
らっかせい	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.09	0.02	0.8	0.7	0.8	0.7
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.02	0.003	0.0	0.0	0.0	0.0
かんしょ	0.02	0.005	0.0	0.0	0.1	0.0
やまいも (長いもをいう。)	0.1	0.004	0.0	0.0	0.0	0.0
こんにやくいも	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.02	0.005	0.2	0.1	0.2	0.2
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	0.05	0.01	0.3	0.1	0.2	0.5
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	0.2	0.031	0.1	0.0	0.1	0.1
かぶ類の根	0.02	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0
かぶ類の葉	0.02	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0
はくさい	0.01	0.0055	0.1	0.0	0.1	0.1
キャベツ	0.02	0.005	0.1	0.1	0.1	0.1
ケール	0.03	0.003	0.0	0.0	0.0	0.0
こまつな	0.03	0.003	0.0	0.0	0.0	0.0
きょうな	0.3	0.04	0.1	0.0	0.1	0.1
チンゲンサイ	0.1	0.0125	0.0	0.0	0.0	0.0
カリフラワー	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
ブロッコリー	0.03	0.006	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のあぶらな科野菜	0.2	0.02	0.1	0.0	0.0	0.1
ごぼう	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
しゅんぎく	0.05	0.0075	0.0	0.0	0.0	0.0
レタス (サラダ菜及びちしやを含む。)	0.1	0.02	0.2	0.1	0.2	0.2
その他のさく科野菜	0.1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.1
たまねぎ	0.1	0.02	0.6	0.5	0.7	0.6
ねぎ (リーキを含む。)	0.1	0.02	0.2	0.1	0.1	0.2
にんにく	0.1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
にら	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
わけぎ	0.1	0.0135	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のゆり科野菜	0.1	0.0145	0.0	0.0	0.0	0.0
にんじん	0.05	0.004	0.1	0.1	0.1	0.1
パセリ	0.03	0.0055	0.0	0.0	0.0	0.0
セロリ	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0
みつば	0.1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のせり科野菜	0.2	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0
トマト	0.5	0.059	1.9	1.1	1.9	2.2
ピーマン	0.1	0.02	0.1	0.0	0.2	0.1
なす	0.02	0.005	0.1	0.0	0.1	0.1
その他のなす科野菜	0.02	0.004	0.0	0.0	0.0	0.0
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.07	0.01	0.2	0.1	0.1	0.3
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.1	0.0145	0.1	0.1	0.1	0.2
ずいか	0.03	0.006	0.0	0.0	0.1	0.1
メロン類果実	0.02	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	0.1	0.015	0.0	0.0	0.0	0.1
ほうれんそう	0.09	0.018	0.2	0.1	0.3	0.3
しょうが	0.1	0.014	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟えんどう	0.05	0.008	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟いんげん	0.02	0.004	0.0	0.0	0.0	0.0
えだまめ	0.03	0.0065	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の野菜	0.05	0.0075	0.1	0.0	0.1	0.1
いちご	0.02	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のハーブ	0.2	0.0075	0.0	0.0	0.0	0.0
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			6.0	3.5	6.0	6.8
ADI比 (%)			2.7	5.3	2.5	3.0

EDI: 推定一日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等×各食品の平均摂取量

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。

ダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの推定摂取量(短期)：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
らっかせい	らっかせい	0.05	0.05	0.1	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.09	○ 0.047	0.4	0
さといも類(やつがしらを含む。)	さといも	0.02	0.02	0.1	0
かんしょ	かんしょ	0.02	0.02	0.3	0
やまいも(長いもをいう。)	やまいも	0.1	0.3	2.4	2
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	だいこんの根	0.05	0.05	0.6	1
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	だいこんの葉	0.2	0.2	1.7	2
かぶ類の根	かぶの根	0.02	0.02	0.1	0
かぶ類の葉	かぶの葉	0.02	0.02	0.1	0
はくさい	はくさい	0.01	○ 0.006	0.1	0
キャベツ	キャベツ	0.02	0.02	0.2	0
ケール	ケール	0.03	0.03	0.2	0
こまつな	こまつな	0.03	0.03	0.1	0
きょうな	きょうな	0.3	0.3	1.0	1
チンゲンサイ	チンゲンサイ	0.1	0.1	0.7	1
カリフラワー	カリフラワー	0.01	0.01	0.1	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.03	0.03	0.2	0
その他のあぶらな科野菜	たかな	0.2	0.2	1.6	2
	菜花	0.2	0.2	0.6	1
ごぼう	ごぼう	0.05	0.05	0.2	0
しゅんぎく	しゅんぎく	0.05	0.05	0.2	0
レタス(サラダ菜及びちししゃを含む。)	レタス類	0.1	0.1	0.6	1
	非結球レタス類	0.1	0.1	0.4	0
	レタス	0.1	0.1	0.6	1
たまねぎ	たまねぎ	0.1	0.1	0.8	1
ねぎ(リーキを含む。)	ねぎ	0.1	0.1	0.4	0
にんにく	にんにく	0.1	0.1	0.1	0
にら	にら	0.01	0.01	0.0	0
わけぎ	わけぎ	0.1	0.1	0.2	0
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	0.1	0.1	0.2	0
	らっきょう	0.1	0.1	0.1	0
にんじん	にんじん	0.05	0.05	0.2	0
	にんじんジュース	0.05	○ 0.004	0.0	0
パセリ	パセリ(生)	0.03	0.03	0.0	0
	パセリ(乾燥)	0.03	0.03	0.0	0
セロリ	セロリ	0.01	0.01	0.1	0
みつば	みつば	0.1	0.1	0.1	0
その他のせり科野菜	せり	0.2	0.2	0.3	0
トマト	トマト	0.5	0.5	5.5	6
ピーマン	ピーマン	0.1	0.1	0.3	0
なす	なす	0.02	0.02	0.1	0
その他のなす科野菜	とうがらし(生)	0.02	0.02	0.0	0
	ししとう	0.02	0.02	0.0	0
きゅうり(ガーキンを含む。)	きゅうり	0.07	○ 0.033	0.2	0
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	かぼちゃ	0.1	0.1	1.0	1
	ズッキーニ	0.1	0.1	0.7	1
すいか	すいか	0.03	0.03	1.0	1
メロン類果実	メロン	0.02	0.02	0.3	0
その他のうり科野菜	とうがん	0.1	0.1	1.7	2
	にがうり	0.1	0.1	0.8	1
ほうれんそう	ほうれんそう	0.09	○ 0.058	0.3	0
しょうが	しょうが	0.1	0.1	0.1	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう(さや)	0.05	0.05	0.1	0
	未成熟えんどう(豆)	0.05	0.05	0.1	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.02	0.02	0.0	0
えだまめ	えだまめ	0.03	0.03	0.1	0
その他の野菜	ずいき	0.05	0.05	0.5	1
	もやし	0.05	0.05	0.1	0
	れんこん	0.05	0.05	0.3	0
	そら豆(生)	0.05	0.05	0.1	0
いちご	いちご	0.02	0.02	0.1	0

ダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

ダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの推定摂取量（短期）：幼児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
らっかせい	らっかせい	0.05	0.05	0.1	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.09	○ 0.047	1.1	1
さといも類 (やつがしらを含む。)	さといも	0.02	0.02	0.3	0
かんしょ	かんしょ	0.02	0.02	0.5	1
やまいも (長いものをいう。)	やまいも	0.1	0.3	4.1	4
だいこん類 (ラディッシュを含む。)の根	だいこんの根	0.05	0.05	1.1	1
はくさい	はくさい	0.01	○ 0.006	0.1	0
キャベツ	キャベツ	0.02	0.02	0.3	0
こまつな	こまつな	0.03	0.03	0.3	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.03	0.03	0.4	0
ごぼう	ごぼう	0.05	0.05	0.3	0
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	レタス類	0.1	0.1	1.0	1
	非結球レタス類	0.1	0.1	1.4	1
	レタス	0.1	0.1	0.9	1
たまねぎ	たまねぎ	0.1	0.1	1.8	2
ねぎ (リーキを含む。)	ねぎ	0.1	0.1	0.6	1
にんにく	にんにく	0.1	0.1	0.1	0
にら	にら	0.01	0.01	0.0	0
にんじん	にんじん	0.05	0.05	0.5	1
パセリ	パセリ (生)	0.03	0.03	0.0	0
トマト	トマト	0.5	0.5	13.6	10
ピーマン	ピーマン	0.1	0.1	0.7	1
なす	なす	0.02	0.02	0.3	0
きゅうり (ガーキンを含む。)	きゅうり	0.07	○ 0.033	0.5	1
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	かぼちゃ	0.1	0.1	1.6	2
すいか	すいか	0.03	0.03	2.6	3
メロン類果実	メロン	0.02	0.02	0.6	1
ほうれんそう	ほうれんそう	0.09	○ 0.058	0.7	1
しょうが	しょうが	0.1	0.1	0.1	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう (さや)	0.05	0.05	0.1	0
	未成熟えんどう (豆)	0.05	0.05	0.1	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.02	0.02	0.1	0
えだまめ	えだまめ	0.03	0.03	0.1	0
その他の野菜	もやし	0.05	0.05	0.2	0
	れんこん	0.05	0.05	0.5	1
いちご	いちご	0.02	0.02	0.2	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁 (値が100を超える場合は有効数字2桁) とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は中央値 (STMR) を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

(参考)

これまでの経緯

平成17年	11月29日	残留基準告示
平成25年	3月29日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：だいこん（つまみ菜及び間引き菜））
平成25年	6月11日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成27年	3月24日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成28年	11月21日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成29年	7月18日	残留農薬基準告示
平成30年	9月11日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：こまつな、にら、しそ）
令和元年	5月22日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和元年	8月27日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和元年	12月20日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和2年	7月14日	残留農薬基準告示
令和5年	5月2日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：らっかせい）
令和5年	11月21日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和6年	1月31日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和6年	9月19日	食品衛生基準審議会へ諮問
令和6年	9月25日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

- | | | |
|------|-----|---------------------------|
| ◎ 穂山 | 浩 | 星薬科大学薬学部教授 |
| 大山 | 和俊 | 一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長 |
| ○ 折戸 | 謙介 | 学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授 |
| 加藤 | くみ子 | 北里大学薬学部教授 |
| 神田 | 真軌 | 東京都健康安全研究センター食品化学部副参事研究員 |
| 近藤 | 麻子 | 日本生活協同組合連合会組織推進本部長 |
| 佐藤 | 洋 | 岩手大学農学部教授 |
| 佐野 | 元彦 | 東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授 |
| 須恵 | 雅之 | 東京農業大学応用生物科学部教授 |
| 瀧本 | 秀美 | 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事 |
| 田口 | 貴章 | 国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長 |
| 堤 | 智昭 | 国立医薬品食品衛生研究所食品部長 |
| 中島 | 美紀 | 金沢大学ナノ生命科学研究所教授 |
| 野田 | 隆志 | 一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問 |

(◎：部会長、○：部会長代理)

答申（案）

ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート

今回残留基準を設定する「ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート」の規制対象は、メチルイソチオシアネートのみとする。

食品名	残留基準値 ppm
らっかせい	0.05
ばれいしょ	0.09
さといも類（やつがしらを含む。）	0.02
かんしょ	0.02
やまいも（長いもをいう。）	0.1
こんにゃくいも	0.05
てんさい	0.02
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.05
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	0.2
かぶ類の根	0.02
かぶ類の葉	0.02
はくさい	0.01
キャベツ	0.02
ケール	0.03
こまつな	0.03
きょうな	0.3
チンゲンサイ	0.1
カリフラワー	0.01
ブロッコリー	0.03
その他のあぶらな科野菜 ^{注1)}	0.2
ごぼう	0.05
しゅんぎく	0.05
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	0.1
その他のきく科野菜 ^{注2)}	0.1
たまねぎ	0.1
ねぎ（リーキを含む。）	0.1
にんにく	0.1
にら	0.01
わけぎ	0.1
その他のゆり科野菜 ^{注3)}	0.1

食品名	残留基準値 ppm
にんじん	0.05
パセリ	0.03
セロリ	0.01
みつば	0.1
その他のせり科野菜 ^{注4)}	0.2
トマト	0.5
ピーマン	0.1
なす	0.02
その他のなす科野菜 ^{注5)}	0.02
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.07
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.1
すいか	0.03
メロン類果実	0.02
その他のうり科野菜 ^{注6)}	0.1
ほうれんそう	0.09
しょうが	0.1
未成熟えんどう	0.05
未成熟いんげん	0.02
えだまめ	0.03
その他の野菜 ^{注7)}	0.05
いちご	0.02
その他のハーブ ^{注8)}	0.2
はちみつ	0.05

注1) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注2) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注3) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注4) 「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注5) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注6) 「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注7) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注8) 「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。